



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3682 URL <http://www.et-x.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 柳 忠和

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	433	6.8	52	47.3	55	53.9	35	89.7
29年3月期第1四半期	405		35		35		18	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 47百万円 (137.6%) 29年3月期第1四半期 20百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	10.34	
29年3月期第1四半期	5.45	

(注) 1. 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率について記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,626	2,837	78.2
29年3月期	3,446	2,875	83.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,837百万円 29年3月期 2,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		25.00	25.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	875	0.4	92	43.5	97	40.5	66	39.6	19.06
通期	2,000	6.9	490	3.9	500	5.9	350	3.9	101.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	3,462,100 株	29年3月期	3,462,100 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	100 株	29年3月期	72 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	3,462,014 株	29年3月期1Q	3,462,066 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の拡大とともに雇用や所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が見られました。経済産業省が平成29年7月に発表した「特定サービス産業動態統計月報(平成29年5月分)」でも、当社が属する「情報サービス業」において売上高等前年同月比は10ヵ月連続の増加を続けました。

一方海外経済では、中国経済の下振れをはじめとする新興国経済の減速、英国のEU離脱問題、米国を中心とした保護主義な政策圧力による世界経済の不確実性の高まりなど、先行きが不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、製品開発面では内外のセキュリティ脅威から重要システムを保護する特権ID管理製品「ESS AdminControl(EAC)」にデータベースへの不審なアクセスの発見を容易にした「EAC V1.5」を4月にリリースし、販売を開始するなど製品の拡張、改良、品質向上に努めました。

営業面では、昨年12月にリリースしたファイル無害化製品「ESS FileGate(EFG)」において、信越地方及び周辺地域の25市町村で受注し納入したことを株式会社電算と共同で4月に発表いたしました。また、I o T基盤におけるセキュリティ対策として当社の主力製品「ESS REC」を重要インフラ事業者が採用した事例を発表し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)が安全対策を主導している重要インフラ13分野に対する当社ソリューションの有効性について訴求を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、433,514千円(前年同期比6.8%増)、営業利益は52,801千円(前年同期比47.3%増)、経常利益は55,282千円(前年同期比53.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は35,782千円(前年同期比89.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①パッケージソフトウェア事業

ライセンス売上は、主力製品であるシステム監査証跡製品「ESS REC」でのシステム追加案件により順調に推移し、その他ライセンス売上の増加等もあり、対前年同期比20.0%増加しました。保守サポートサービス売上は新規契約及び契約更新が引き続き順調であったため増加し、また受注案件の高度化に伴うコンサルティングサービス売上の増加などにより、セグメント売上高は395,770千円(前年同期比15.1%増)となりました。セグメント利益は、155,122千円(前年同期比3.8%増)となりました。

②システム開発サービス事業

システム開発サービス事業は、主にソフトウェアの設計・開発を目的とした派遣業等を行う事業になります。セグメント売上高は55,720千円(前年同期比10.2%減)となりましたが、セグメント利益は3,217千円(前年同期比16.6%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメント販売実績

(単位:千円)

報告セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
うちESS REC (REC)	59,427	62,413
うちその他ライセンス	20,033	32,974
ライセンス	79,460	95,387
保守サポートサービス	197,774	221,391
クラウドサービス	5,954	11,864
コンサルティングサービス	34,674	42,953
SIO常駐サービス	15,361	12,480
その他	10,611	11,693
パッケージソフトウェア事業 計	343,836	395,770
システム開発サービス事業	62,060	37,744
合 計	405,896	433,514

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ179,641千円増加し、3,626,414千円(前連結会計年度末比5.2%増)となりました。主として現金及び預金の増加311,313千円、売掛金の減少155,753千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ218,350千円増加し、789,156千円(前連結会計年度末比38.3%増)となりました。主として前受金の増加254,338千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ38,708千円減少し、2,837,258千円(前連結会計年度末比1.3%減)となりました。主として利益剰余金の配当86,550千円の支払、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上35,782千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期連結累計期間は、計画どおり進捗しており、今後の業績につきましては、引き続き国内外の景気動向にリスクが存在しておりますが、平成29年5月12日に公表した業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,837,603	3,148,917
売掛金	291,427	135,673
その他	45,943	49,213
流動資産合計	3,174,974	3,333,804
固定資産		
有形固定資産	31,228	30,628
無形固定資産	61,176	59,198
投資その他の資産	179,393	202,783
固定資産合計	271,798	292,609
資産合計	3,446,772	3,626,414
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,090	17,897
未払法人税等	73,467	30,261
前受金	342,493	596,831
賞与引当金	10,864	25,563
その他	88,662	88,106
流動負債合計	540,578	758,659
固定負債		
退職給付に係る負債	4,718	4,978
資産除去債務	25,508	25,518
固定負債合計	30,226	30,496
負債合計	570,805	789,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金	489,386	489,386
利益剰余金	1,877,979	1,827,211
自己株式	△134	△187
株主資本合計	2,874,617	2,823,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,349	13,462
その他の包括利益累計額合計	1,349	13,462
純資産合計	2,875,967	2,837,258
負債純資産合計	3,446,772	3,626,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	405,896	433,514
売上原価	177,895	186,179
売上総利益	228,001	247,335
販売費及び一般管理費	192,147	194,534
営業利益	35,854	52,801
営業外収益		
受取利息	73	30
助成金収入	—	2,446
雑収入	6	6
営業外収益合計	79	2,483
営業外費用		
雑損失	3	2
営業外費用合計	3	2
経常利益	35,930	55,282
税金等調整前四半期純利益	35,930	55,282
法人税、住民税及び事業税	8,935	21,767
法人税等調整額	8,129	△2,268
法人税等合計	17,064	19,499
四半期純利益	18,865	35,782
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,865	35,782

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	18,865	35,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,290	12,112
その他の包括利益合計	1,290	12,112
四半期包括利益	20,156	47,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,156	47,894
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	343,836	62,060	405,896	—	405,896
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	343,836	62,060	405,896	—	405,896
セグメント利益	149,446	3,856	153,303	△117,449	35,854

(注) 1. セグメント利益の調整額△117,449千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社アクロテック株式取得に伴うのれんの発生額は25,554千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	395,770	37,744	433,514	—	433,514
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	17,976	17,976	△17,976	—
計	395,770	55,720	451,491	△17,976	433,514
セグメント利益	155,122	3,217	158,339	△105,538	52,801

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,538千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。